

人々の支えが成功に導く

日野町民ミュージカル「けい太の見た夢の中」〜長楽寺の不動明王〜



張りのある歌声で魅了した不動明王



猛特訓したダンスの数々



あてやかな旅芸人お国

12月17日、5年目となる町民ミュージカル公演「けい太の見た夢の中」長楽寺の不動明王〜（日野町民ミュージカル実行委員会主催）が、町文化センターで上演されました。
出演者は、町内の子どもたちを中心とした28人で、長楽寺（下榎）にある国の重要文化財、不動明王像をヒントにした創作ミュージカルを一杯に演じ、昼夜公演とも満員の客席からは大きな拍手が送られました。



お国は村人弥助と結ばれる



村の大人たちのコミカルな演技



現代っ子のけい太



貧しいけれど陽気な孤児たち



村の再生を願う長楽寺の和尚



土石流から村を救い犠牲となった弥助と孤児・ヤンマへの思いを叫ぶ



村人の心がひとつになる

今回の公演では、まちの財政難の中、「町民ミュージカルを応援する1000人の会」が結成され（1口3000円）、町民を中心に140人以上が会員となり、公演成功の大きな力になりました。
また、趣向をこらした衣装や、大道具・小道具などの多くは出演者や地元ボランティアによる手づくり。公演当日の運営もボランティアスタッフによるもので、こうした地元住民の協力が公演を大成功に導きました。

～ものがたり～

生きる目的を見失い、学校にも行けずまちをさまよう少年けい太。

そんなけい太の前に長楽寺の不動明王一家が現れ、ともに元禄時代の日野の里にタイムスリップ。けい太は、日野の里の人々や孤児たち、旅芸人お国らとのさまざまな出会いを通じて成長していく。



フィナーレでダイナミックにポーズ



大きな声で心を届ける



幕が下りる瞬間まで手を振る出演者たち